

平成 29 年度森林審議会での骨子案に対する主な意見と対応について

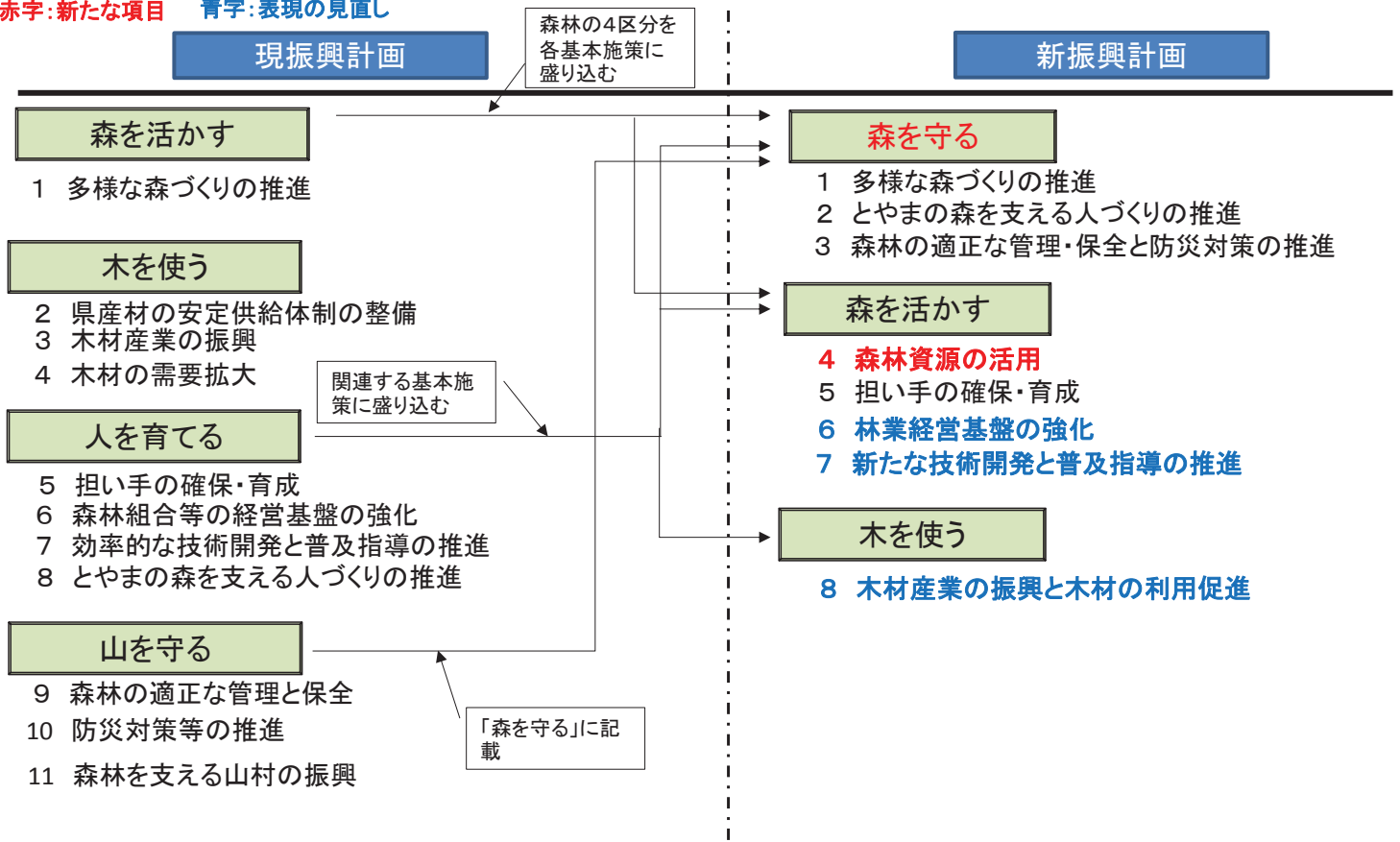
No.	主な意見	対応
1	森林環境税（仮称）の動向を取り入れ、振興計画とすり合せする必要がある。	・施策に、森林環境譲与税（仮称）を財源とする、森林経営管理制度について記載。
2	「人を育てる」という文言がなくなったのは残念。 <u>「人を育てる」を縦串での標記を行い、少し見えるようにすべき。</u>	・「森を活かす」「木を使う」「森を守る」は相互に関連するとともに、人材の育成が不可欠なことから、3つの基本施策を支える施策として、現計画の「人を育てる」を継承。
3	都会の若者等が森林組合以外の小規模の林業事業体へ入っていけるシステム、サポートができないか。	・高校生等、次世代を担う若者に対する、就業機会の創出に取り組む。
4	地域おこし協力隊として参加した都会の若者が移住定住するために、関係機関が持つ様々な情報を提供できるような体制をつくり、人材確保に努めてほしい。	・林業担い手センターを通じ、地域おこしに取り組んでいる方々などに情報提供するよう努める。

現「富山県森林・林業振興計画」からの施策体系等の変更内容

《H29森林審議会》

赤字: 新たな項目

青字: 表現の見直し



《今回》

赤字: 新たな項目

青字: 表現の見直し

